

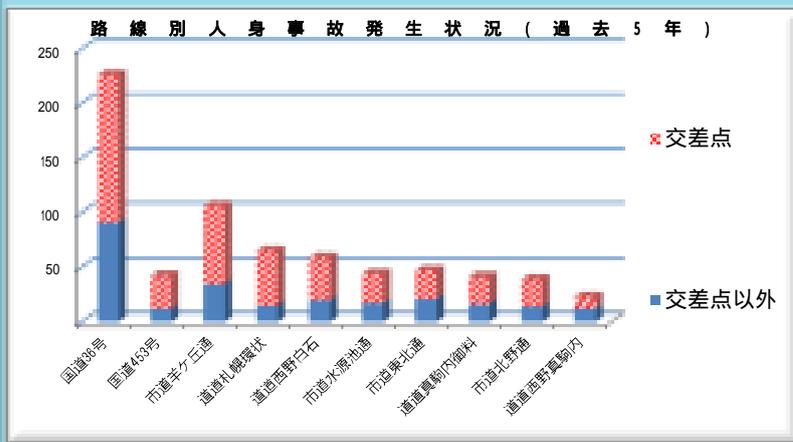
速度取締指針

豊平警察署の速度取締りの重点

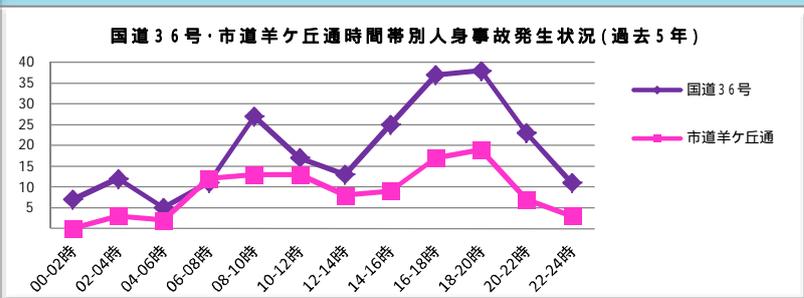
| 路線 | 時間帯 | 地域 | 規制速度 |
|--------|--------|-----|--------------|
| 国道36号 | 8時～22時 | 市街地 | 指定速度(50km/h) |
| 市道羊ヶ丘通 | 8時～20時 | 市街地 | 法定速度(60km/h) |

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

札幌方面豊平警察署管内の交通事故実態等



過去5年(10～12月)の人身事故発生状況を路線別に比較すると、単一路線における事故総量及び交差点に起因する事故、交差点以外に起因する事故全てにおいて国道36号での発生が最も多く、次いで市道羊ヶ丘通での発生が多い状況である。



過去5年(10～12月)の時間帯別人身事故発生状況について、国道36号は朝の通勤時間帯に事故が増加する。その後、昼過ぎまで事故発生が減少し、14時頃から事故が増加していき、18時から20時頃に事故発生のピークを迎える。
市道羊ヶ丘通は、早朝6時から20時頃までの時間帯に一定して事故が多い傾向にある。

道路交通環境

豊平警察署管内の主要幹線道路は、北海道の大動脈である国道36号と片側3車線で清田区や北広島市の商業施設と繋がる市道羊ヶ丘通である。この2路線は曜日を問わず交通量が多く、それに伴い事故の発生が多い。

豊平警察署管内での郊外を通る路線は道道真駒内御料札幌線であり、行楽シーズンは交通量が増え、それに伴い、実勢速度も上昇する。

豊平・清田区は、中央・南・白石・厚別区、北広島市と隣接しており、様々な目的の車が豊平・清田区の国道・道道・市道を往来する。

～交通死亡事故発生状況～平成30年1月1日から9月30日現在

豊平警察署管内では死亡事故が4件発生しており、路線別では国道36号で1件、道道真駒内御料札幌線で1件、市道水源地通で2件で発生している。

その他の交通指導取締りの要点

市街地における交差点違反、シートベルト違反等の取締りの強化、速度抑制のための警戒活動の強化

取締り結果

本年9月末までの豊平警察署管内における死亡事故は4件発生し、前年対比+2となっている。
本年9月末までの豊平警察署管内における人身事故は454件発生し、前年対比-2となっている。